

2026年 8 月14日

各 位

会社名 株式会社Speee
代表者名 代表取締役 大塚 英樹
(コード番号：4499 東証スタンダード)
問合せ先 取締役CFO 西田 正孝
(TEL. 050-1748-0088)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026年 8 月14日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、昨年 11月14日の2025年 9 月期通期決算発表時に開示した2026年 9 月期（2025年10月 1 日～2026年 9 月30日）の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 当期の連結業績予想数値の修正（2025年10月1日～2026年 9 月30日）

	連結 売上高	連結 営業利益	連結 経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1 株当たり 連結当期 純利益
前回発表予想（A）	百万円 17,000	百万円 △1,704	百万円 △1,698	百万円 △2,079	円 銭 △181.14
今回修正予想（B）	17,000	△1,193	△1,188	△1,455	△126.44
増 減 額（B－A）	0	511	509	623	
増 減 率（％）	0	—	—	—	
（参考）前期連結実績 （2025年 9 月期）	16,435	△685	△661	△950	△84.88

2. 修正の理由

当社は前回2025年11月14日に発表した2026年 9 月期の連結業績予想について、第 3 四半期までの進捗状況と第 4 四半期以降の見込みを元に通期見通しを精査した結果、営業利益が当初予想を上回る見通しとなったため、前回発表した業績予想の修正が必要であると判断いたしました。

・売上高について

売上高につきましては、各セグメントにおいて概ね計画どおりに進捗していることから、前回発表の予想数値を据え置いております。

・各段階利益について

利益面におきましては、第 3 四半期までの業績が当初計画を上回る結果となり、第 4 四半期も同様の傾向で推移する見込みとなりました。

金融DX事業においては、事業間の人員配置最適化の進展や採用効率の向上により人件費および採用費が計画を下回ったほか、AIの活用により開発効率が向上しております。レガシー産業DX事業においては、ユーザー獲得手法を最適化させ集客効率を改善したことで、営業利益が前年同期比で大幅に増加し、計画

を上回る見込みとなりました。これらの要因により、通期の営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益を上方修正（赤字幅の縮小）するに至りました。

なお、金融DXへの投資は順調に進捗しております。今後も金融DXをはじめとするグループ全体の中長期的な成長投資を行い、売上・利益の最大化を図ってまいります。

※上記の予想は発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後発生する様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上